

洞爺湖芸術館 第11回町民ギャラリー

大木 晴子 ちぎり絵展

—和紙ちぎり絵の世界—



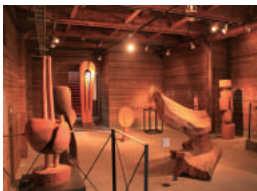
秋の籠

2018.4.1 (日) ▷ 4.22 (日)

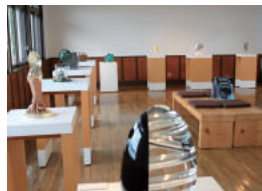
1階町民ギャラリー室にて

【開館時間】 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで) 【休館日】 毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)
【入館料】 一般 300 円、高校生 200 円、小中学生 100 円 (その他割引あり) ※洞爺湖町民 無料

常設展示



砂澤ピッキ彫刻作品



国際彫刻ビエンナーレ作品



洞爺湖芸術館

TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺町 96 番地
TEL & FAX 0142-87-2525 <http://www.geijutukan.net>

大木 晴子 ちぎり絵展 —和紙ちぎり絵の世界—

和紙を用いて、四季折々の自然や風景、風物詩を描く「和紙ちぎり絵」。室蘭の道新文化センターで「和紙ちぎり絵しゅんこう」の講座で学んだ、大木晴子さんによるちぎり絵の力作をご紹介します。

和紙ちぎり絵は色とりどりの高級な手漉き和紙を、薄く剥いでちぎり、細かい絵柄や陰影に沿って、部分によっては20枚も重ねて貼っていくという、たいへん根気のいる制作過程を経てできあがります。水彩画のような仕上がりのちぎり絵の世界をお楽しみください。



滝



菖蒲



ペンション



ぶどうの罫

作家プロフィール

洞爺湖町生まれ。洞爺湖温泉で長く「ささや食堂」を経営していましたが、2000年の有珠山噴火後に閉店しました。その後しばらくして、娘さんの勧めで室蘭の道新文化センターで英会話や書道などを始めましたが、同じセンターでやっていた「和紙ちぎり絵しゅんこう」に出会い、10年間熱心に通い制作を続けました。途中、いろいろなできごともありましたが、好きだからこそ続けられたとおっしゃっています。

※「和紙ちぎり絵しゅんこう」

1960年代に故・中野はるにより「和紙ちぎり絵」の手法が生み出され、70年代に「株式会社しゅんこう」を設立。現在は公益財団法人「日本和紙ちぎり絵協会」のもと、神戸の高級手漉き和紙を用いた「和紙ちぎり絵しゅんこう」の講座を全国で展開している。(通常の和紙は3枚にはがれないが、このしゅんこう和紙は3枚にはがれる)